

# 常温収縮形シュリンクバック対策品

## シースずれ止め用常温収縮チューブ

6600V トリプレックス形 ケーブル用

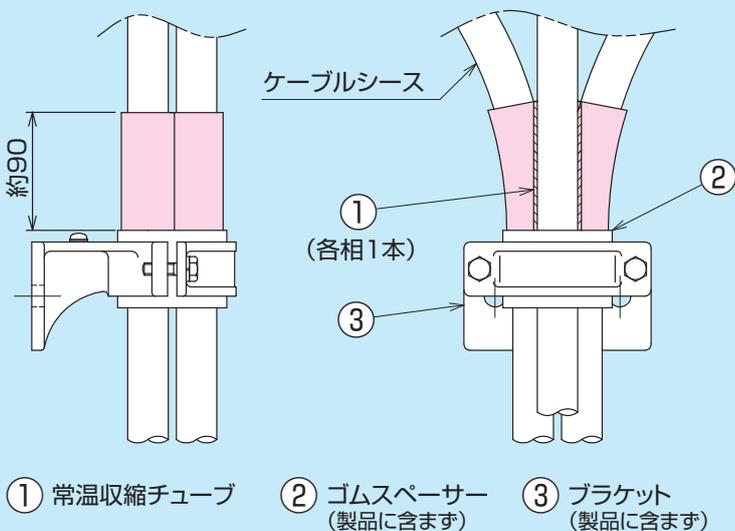
- ◎ 当社既存対策品とは異なり、常温収縮チューブを用いた新工法です。
- ◎ 火気を一切使用せず、短時間で施工でき、均一な仕上がりが得られます。

### 特長

1. 作業時間が従来の方法に比べて大幅に軽減します。
2. 取付工具が不要です。
3. ケーブルシースと密着することで、ケーブルシースの収縮を抑制します。



作業時間 **48%減** (当社比)



#### 【検証試験内容】

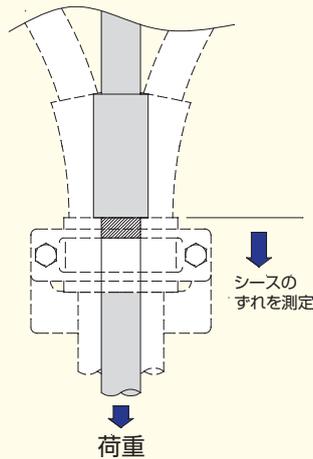
シュリンクバック現象を荷重により模擬した検証を実施し、ケーブルシースのずれが10mm未満(参考文献 20mm未満)であることを確認しております。

- \*本製品はケーブルシース切断端より1m以内に取り付けることを推奨いたします。
- \*単心ケーブル対応品もございます。
- \*特許出願中



# シュリンクバック模擬試験により効果を検証しております

※対象ケーブル：ビニールシースケーブル(CV等)、ポリエチレンシースケーブル(EM-CE、耐火ケーブル等)



シースに荷重を加える※1

-15℃⇔70℃の温度変化を  
30サイクル加える

シースが10mm以上  
ずれないことを確認※2

※1 参考文献により想定されている以上の荷重をシースに加える  
 ※2 参考文献ではシースのずれが20mm以内であればしゃへい銅テープの断線は起こらないと想定している  
 参考文献：電気学会研究会資料 No.EWC-11-021

## 6600V CV・EM-CEケーブル用型番選定表

導体断面積 (mm <sup>2</sup> )	単心	トリプレックス
14	JSB1-1	JSBT-1
22		
38		
60	JSB1-2	JSBT-1
100		
150	-	JSBT-2
200		
250		
325		
400		

## 当社の他シュリンクバック対策品



### スプリング式 アルミクリート

内蔵のスプリングがゴムスペーサーを一定圧力で押え、ケーブルを長期的に拘束保持するのに有効です



### シースずれ止め用 熱収縮チューブ

ケーブルシースと固着することで、ケーブルシースの収縮を抑制する効果があります

※チューブを収縮させるにはドライヤー等の熱源が必要です

※上記製品はケーブルシース切断端より1m以内に取り付けることを推奨いたします



**住電機器システム株式会社 産業機器営業部** URL: <http://www.sumiden-kiki.co.jp>

東日本グループ 〒107-8468 東京都港区元赤坂1丁目3番13号 赤坂センタービルディング6階  
電話 (03)6406-2873

名古屋営業所 〒451-6035 愛知県名古屋市西区牛島町6番1号 名古屋ルーセントタワー35階  
電話 (052)589-3877

西日本グループ 〒664-0837 兵庫県伊丹市北河原6丁目1番3号  
電話 (072)782-9152